

永年勤続表彰受賞



岩手県採石工業組合の総会において、当社の長井聡さんが永年勤続優良従業員表彰を受賞いたしました。また県内4名の受賞者を代表して謝辞を述べました。今回の受賞を契機に益々業務に精効して、業界発展のために力を発揮していただきたいと思います。

また、本年度より当社の中田社長が、岩手県採石工業組合の理事長に就任いたしました。難しい時期の業界の舵取りを任されることとなりますが、私達もバックアップをしていきたいと思っております。

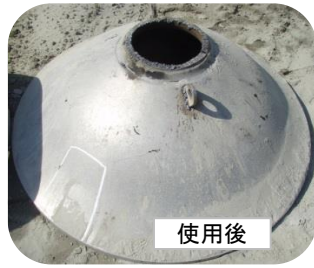
マントル交換

砕石プラント2次破碎機（コーンクラッシャー）のマントル交換をしました。コーンクラッシャーは偏心運動をするマントルとコーンの間を原料が通過することにより圧縮され破碎されます。摩耗したマントルでは当初の生産量や品質が得られなくなってきます。ということでマントルは一定期間により交換しなければならないのです。このマントルとコーンケーブリング、何の変哲もない鉄でできたカサとひっくり返したお椀のようなものなのですが、すこぶる値段が高いのです。

しかし、砕石業にとってこの部品は生命線となる極めて重要な物です。『健全な肉体に、健全な精神が宿る』がごとく、適正な修繕が良好な生産につながるのです。若返ったクラッシャーがいい仕事をしてくれるよう期待しています。



使用前



使用后

事故は突然に…

5月17日、当社事業所から500m上流側の沢に軽乗用車が滑落する事故がありました。1名の方が車体と立木の間で挟まれ身動きが取れない状態で、一刻を争う事態でした。次々と救急車、レスキュー車、パトカーがやってくるのですが現場までの道は幅員が狭く方向転換の場所もないので、当社の小型ホイールローダーで引き上げ作業を行いました。30分後位にはドクターヘリも砕砂プラントへ着陸して、医師が現場へ急行しましたが、結局ケガ人が搬送されることはありませんでした。夕方、毛布にくるまれたご遺体は救急車ではなく警察車両に移されて静かに出ていきました。事故の状況を見るにつけ、こうしていたらとか、ああしていたら死に至ることなかったのではないかと考えさせられます。しかし、逆に死亡事故はそういう複数の条件が最悪の状態重なった時に起きるものだという事を思い知らされました。また、現状の事態に冷静に最善を尽くすことが大切であると考えさせられた事故でした。亡くなられた方のご冥福を心からお祈りいたします。



～ 発想力 ～

3次元印刷機（3Dプリンター）なるものがあることを先日初めて聞いた。こんなものがあればいいなと思うものが、知らぬ間にできてしまっていたことに驚いてしまう。

砕石業では、採取数量や採取場形状について、平面図や縦横断図で表し、頭の中で現場を再構成している。（どういう業種でもそうなのだが。）よくて鳥瞰図で見ることが出来る程度である。3次元印刷機では現物のスケールモデルが出来てしまう。ふと考えると紙の2次元印刷物の保存にも難儀しているのに、3次元印刷物は立体ファイルに入れて倉庫に保管。印刷物に埋もれている光景が目につかぶ。こんな貧困な発想だから携帯電話機能のほとんどを放棄してしまっているのだと自嘲している自分に気づく。（気づく分だけまだ救われる？）

三本桜 咲く

5月は寒暖の差が激しい。連休明け7日の朝は寒さがしみる雪だったのに、27日はジリジリと太陽が照りつけ32度の真夏日。グズグズしている冬をせっかちな夏が押しつけ、その横で春がオロオロしている、そんな5月であった。それでも生き物は春を省略するわけにはいかない。運搬路脇の三本桜は巷の食害をよそに例年より綺麗に花を咲かせた。

爆発的な春を感じる5月であった。



プラントに

砕砂プラントの製品コンベアの下に微砂が写真のように堆積している。鍾乳洞の石筍、アリ塚、行ったことはないがトルコのカップパドキアのようにも見える。人の手で同じ物を作ろうとすると至難の技であろう。天然がもたらす造形美の一コマである。



カップパドキア



編集後記

そろそろ暑さとの戦いになりますね！今年はどうな夏になるのやら。何かと水分が美味しくなる季節…飲過注意デス